

南朝正平十三年 北朝延文三年四月三十日

八四四

家の千句の中よ

一夏の山のえけこの花かたき

賀茂のまつりは卯月ありしよ

前大納言尊氏

〔菟玖波集〕

釋八
教連歌

遠き名残は夢の二月

わしの山御法の花のちりしより

前大納言尊氏

身よりあゝろのすてられよとし

とよかくと思ふ法のさわりよて

前大納言尊氏

家千句連歌よ

朝夕の釣たるゝ身のいとまあき

罪あにことよ世をわたれかし

前大納言尊氏

〔菟玖波集〕

戀九
連歌上

つゝめともあやしと人やとかむらん

世うさりよとや名こそさちぬれ

前大納言尊氏

人のちきり乃いうてほきぬる